



芦高 Times

AUSS: Ashiura Upper Secondary School

平成27年度 第5号 9月号
発行/県立芦屋高等学校
芦屋市宮川町6番3号

芦高の魅力を伝える！オープンハイスクール開催



8月20日(木)、21(金)の2日間で、約2,100名の中学生・保護者、中学教員の方が来校。第1部の学校説明では、自治会副会長平井万柚子(神戸市立鷹匠中)の司会のもと、教頭からの学校紹介、自治会執行部による通学服のファッションショー、ユニークな部活動紹介、そして、パワーポイントを使っての学校生活の紹介、最後に自治会長栗木侑香(神戸市立本山中)から本日のオープンハイスクール参加へのお礼と芦屋高校のことを更に知って欲しいという熱い言葉がありました。

第2部の体験授業では、「高校古文入門」「武道で学ぶ日本文化」「数の歴史」「顕微鏡を作ろう」など、芦高教員が工夫をこらした22の講座に別れて、高校生気分を楽しみました。保護者の方は校舎を巡回して、体験授業を見学。相談会では、本校の管理職・課長に、通学の服装、自転車通学のこと、携帯電話のルール、アルバイト許可のこと、選択科目の留意点、入試内容など、積極的な質問が飛び交いました。



不思議発見？「化学マジック教室」開催 —精道中学校—

精中応援隊(精道中学校学校支援ボランティア)による、夏休み特別企画、「化学マジック教室」が7月28日(火)に開催。14名の小・中学生が参加。本校の数理科学研究部、ボランティア部、そして有志の生徒計8名と岡田校長が講師となり、約2時間にわたって、「振ると色が変わる不思議な液体」や「人工イクラを使った粒時計の製作」などの化学実験を体験しました。



参加した小・中学生はペットボトルの振り方で色が変わることにびっくりしたり、人工いくらができる様子を興味津々と見つめていました。



2年次生が国立大学へ ～香川大学訪問～

3年目の実施となるこの行事では、国公立大学を志望する2年次80名の生徒が、夏休みを利用して香川大学を訪問。朝7時に学校に集合してバスで出発。香川大学では、工学部、農学部、教育学部、法学部、経済学部、医学部看護学科など、希望する学部を訪問。帰着が夜7時30分になるという強行軍でしたが、進路目標を明確にし、意欲を高める充実した一日になりました。

参加した生徒の感想は、「国公立大学は教員一人についての学生の人数が少ないのに驚いた」「雰囲気良くここで勉強してみたい」など、国公立大学への夢を膨らませるものとなりました。



夏季休業の補習週間

～3年次生は六甲山のロッジで猛勉強～



本校では、平常の補習に加えて、夏休みは集中的に補習授業を実施。前期補習は、1年次～3年次まで午前中に。1年次は国語・英語・数学の基礎教科。2年次・3年次生は理科・地歴・公民も含んだ5教科で実施。お盆明けから後期の補習がスタート、センター試験を目指した学習が3年次を中心に行われました。

また、7月29日(水)～31日(金)の3日間、芦屋市奥池のロッジを借りて、3年次生約80名は学習合宿を実施。朝の9時から22時まで、びっしりと講座がつまり、どこまで自分が勉強できるかを試す機会となりました。

水泳部



部活紹介

6月の県総体で3年次生が引退し、7月から1・2年次生による新チーム(男子11人・女子9人)が始動。個々の専門種目を伸ばしながら、チームとしてのまとまりを大切に、互いに切磋琢磨できる部活動を目指しています。

練習は週6日(月～土)、本校プールを中心に、冬季は近隣の温水プールで練習。経験者だけでなく初心者も多く入部し、男女と一緒に練習に励んでいます。また、GWの合宿や夏のOB会を通じて、チームワークの大切さや、水泳部の伝統を学んでおり、水泳部の経験がこれからの人生に役に立つと考えています。

目標は、県総体の決勝に残り、近畿大会に出場することです。そのために厳しい練習を続けながら、日々心身を鍛えています。



単位制のよいところ

大学入試改革へ向けた新しい学びに対応

知識の量

知識の質

たくさんを知っている

持っている知識の活用

体験と結びつけた授業が、『知識の質』を高めることにつながっていきます。本校では、数多くの体験型の授業を用意しています。

- 10月2日(金) 後期始業式
9日(金) 体育祭
14日(火) 創立記念日
16日(金) カウンセリング
17日(土) 学校説明会(中学生対象)
進研模試(3年次)
20日(火) 定期考査(～26日(月))
30日(金) カウンセリング
31日(土) 進研学力テスト(1,2年次)



主な行事